

いけだまこと
「厚別南体育振興会」池田誠さん

現在、学校開放の体育館は、冬季に室温が0度以下になると市の負担で暖房を使用できますが、0度の基準をもう少し上げて、温かい中でスポーツを楽しめればと思っています。温かい学校の運用について私たちも協力していきたいと考えています。



市長から

確かに室温が0度は厳しい条件だと思います。冬でもスポーツを楽しめる環境を整えなければならないなど考えておりますが、市の財政状況を考えると、これからは市が設備を整えて、皆さんに利用料金を負担してもらうことになっていくだろうと思います。※

※利用者負担で、今冬から0度以上でも暖房が使用できるようになりました。

あさかわ ようこ
「厚別区健康づくり懇話会」浅川陽子さん

3つのスローガンからなる「健康あつべつ宣言」の策定に協力しました。健康づくりのために活動している団体を広く知ってもらえるように、区役所やまちづくりセンターに掲示板を設置したり、市のホームページにコーナーを設けたりするのはどうでしょうか。



市長から

「健康あつべつ宣言」のスローガンの一つ、「始めようできること、続けようできたこと」は大変語呂がよく、素晴らしい言葉ですね。また、掲示板の設置には、特別な技術を必要としないので、「作ってほしい」という要望があれば実現できると思います。

ものいえみこ
「健康あおば応援隊」物井榮美子さん

私たちが健康で元気に過ごすためには、自らが体力づくりに励むのが一番です。副都心と言われる素晴らしい地区でありながら、体育施設がほとんどありません。ぜひ健康づくりセンターと、パークゴルフ場を設けてほしいです。



市長から

いずれも、今すぐ実現することは難しいですが、皆さんが要望し続ける、そして、施設ができたとき利用できるように活動を続けていくことが大切だと思います。10月には厚別温水プールが完成しました。泳ぐだけでなく、水中で楽しく運動ができる施設ですので、ぜひ利用してください。

一般参加の市民から

健康づくりは、まず食生活からということで料理教室を開いていますが、厚別保健センターに備えられた包丁がまったく切れません(会場笑)。ぜひともセンターに砥石といしを用意してほしいです。



市長から

これは、予算の関係で...とは言えない問題ですね(会場笑)。区の職員にお願いしておきます。包丁を研ぐ技術というのは一つの文化だと思います。そうした技を多くの方に伝えていき、ぜひ地域の財産にしてください。

厚別南地区はこんな街

- 区内で1番人口が多い街
大谷地、上野幌、厚別南の3地区からなり、人口は約3万7千人。高速道路のインターチェンジやバスターミナルがある交通の便のよい街です。
- シンボルはサイクリングロード
地区内を縦断するサイクリングロードの環境美化や、通学児童の安全確保にも取り組んでいます。

今年七月に、町内会連合会が中心となって、地域課題の解決やより住みよいまちづくりのための活動の場として、二十一単位町内会を含む四十三団体で構成する「厚別南まちづくり会議」を設立。十月には二回目の会議を開催し、各団体の活動や地域が抱えるさまざまな課題について議論しました。

「市民が健康で安心して暮らせること」をまちづくりの基本とし、三町内会では、防犯ジャンパーを着用しながらのパトロールがすでに始まっ

ています。また、ターミナルハイツ大谷地町内会では、入居者の54%が六十五歳以上ということから、入居者で元看護師をされていた方による健康教室を実施。入居者同士の交流の場にもなっており、高齢化を地域で支える取り組みの一つとなっています。

まちづくり会議は動き始めたばかりですが、このような取り組みが広がっていくように、今後の具体的な活動について地域で議論し合いながら進めていきます。



「厚別南まちづくり会議」に上田市長が参加

住民参加で街が変わる

広げよう!
まちづくりの輪



厚別南町内会連合会会長
工藤 保雄さん



ターミナルハイツ大谷地町内会会長
小田島 允子さん

厚別区
厚別南まちづくりセンターの巻
☎(891) 1666

健康で安心して暮らせるまちづくりを

市内87のまちづくりセンターから